

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第8号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月19日 20時30分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県宮古島市パイナガマビーチ西方沖 宮古島市所在の平良港トゥリバー北防波堤灯台から真方位268° 1, 150m付近 (概位 北緯24° 48.2' 東経125° 15.3')</p>	
事故等調査の経過	<p>平成24年1月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第三択漁丸、4.3トン 船舶番号、船舶所有者等 ON3-28402（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船底部擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約0.6m、船尾約1.4mの喫水をもって、帰港のためにパイナガマビーチ沖を手動操舵により速力約6.5ノットで東進中、平成24年1月19日20時30分ごろ平良港南西沖の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、僚船によって満潮時に引き出された。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 3、視程 20km	
その他の事項	<p>船長は、夕方から北風が強くなり始めたので宮古島西岸沿いに北上しようと思い、東向きに針路を取って陸岸に近づき、レーダーやGPSプロッターを作動させていたが、見ていなかった。 乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	<p>本船は、パイナガマビーチ西方沖を東進中、船長が風を避けて宮古島西岸沿いを航行しようと思い、陸岸に接近したが、レーダーやGPSプロッターを見ていなかったことから、平良港南西沖の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、パイナガマビーチ西方沖を東進中、船長が、風を避けて宮古島西岸沿いを航行しようと思い、陸岸に接近したが、レーダーやGPSプロッターを見ていなかったため、平良港南西沖の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	